| | |
|---|---|
| 事例No. | 3159 |
| 公表年度 | R6 |
| 団体の属性 | 指定都市 |
| 団体名 | 京都府京都市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公営企業 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・（公営企業）水道事業 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 消防・防災 |

事例内容・タイトル

水道事業における防災対策（耐震化以外の対策）の取組事例

出典

上下水道の経営基盤強化に関する研究会②

# 水道事業における防災対策（耐震化以外の対策）の取組事例

京都市の取組

## 応急給水の備え

災害等により水道が止まった場合でも、迅速に水を配るための準備を整えています。

### 給水車の配備

市内各所で応急給水を行うために、水道水を運ぶ給水車を配備しています。



給水車

### 仮設給水栓・仮設給水槽の配備

効率的に給水するための仮設給水栓を市内公共施設に配備するとともに、1,000Lの水を貯めることができる仮設給水槽の配備を計画的に進めています。



仮設給水栓



仮設給水槽

※各種配備数は令和4年度末時点の実績

### 耐震性応急給水槽の設置

飲料水確保を目的とした対策の一つとして、営業所等に耐震性応急給水槽を設置しています。給水槽には常時76～200㎥（1人1日3ℓとして、8,400人～22,000人の3日分）の飲料水を確保しています。

### ご家庭でもできる災害への備え

上下水道局では、災害時の断水に備えて、“1人1日3ℓ、最低3日分”の飲料水の備蓄を推奨しています。

また、飲料水だけでなく、生活用水の確保のため、日頃からポリタンク等での備蓄もしておきましょう。

### 水道水の汲み置き保存の方法

十分に洗浄した清潔な容器に内部の空気が残らないように口元まで水道水で満たし、しっかりと蓋を閉めてください。

冷蔵庫に保存すれば、3日から1週間程度使用することができます。

保存期限が過ぎた水は、プランターの水やり等に使用してください。

### 災害用備蓄飲料水「京のかがやき　疏水物語」

京都市が誇る水道水をろ過、加熱処理し、アルミボトル缶に詰めた「京のかがやき　疏水物語」。災害用として備蓄していただくのはもちろん、普段の飲料水としても、おいしく飲んでいただけます。詳しくはホームページをご確認ください。

